

やぶつばき



令和5年4月6日

笑顔あふれる学校に

新入生25名を迎えて、全校児童169名で令和5年度がスタートしました。

今春は暖かく、校庭の桜も早々に満開となり、子どもたちの登校を今か今かと待っているようでした。そして、今日は、校舎内に子どもたちの元気いっばいの声が戻ってきたので、いっぺんに校舎の中がにぎやかとなり、ワクワクとした気持ちとなりました。



今年度も「ともにみがき合い かかやく」を教育目標に据え「よく考え、自ら学ぶ子」・「きまりを守り、仲間と協力する子」・「健康で明るくがんばりぬく子」の育成に努めます。「今日はこんなことが分かった、できた」「こんなことをがんばった」「友だちや先生とこんなことをして楽しかった」など、子どもたちの日々の達成感や満足感を大切に、学校に来ることが楽しみになる、笑顔あふれる学校づくりを目指します。

教育目標の達成のためには、ご家庭や地域のみなさまのご理解とご協力がなくてはなりません。ともに支え合い理解し合って、また、協議を重ね、納得し合いながら歩みを進めるような、そんな温かい関係でいたいと考えています。どうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。（教職員一同）

◇お知らせとお願い◇

「マスクの着用は行わないことを基本としますが、持ち物としてマスクを靴の中に常備してください」

文部科学省の方針を受けて、四日市市教育委員会から、令和5年3月23日付けで「新学期からの学校における新型コロナウイルス感染症対策の基本的考え方」が出ました。これに従い、学校において、児童及び教職員は、マスクの着用を求めないことを基本とします。

但し、マスクを着用するかどうかは個々の事情によります。「花粉症があるから」「家族が基礎疾患を持っているから」など様々です。本校は、マスクの着用は本人の自由としながらも、次のことに気をつけながら教育活動を進めてまいります。

- ① 「マスクの着用は本人の自由である」という考え方が定着するように指導を行います。
- ② 感染のリスクが比較的高い学習活動にあたっては、手洗いや換気のほかに、「大声での発声を控える」「触れ合わない程度の距離を確保する」等の対策をとります。
- ③ 給食や調理実習の試食は、机は向かえ合わせにせず、静かに食べるよう指導します。

※感染リスクが比較的高い学習活動とは、次のようなものがあげられます。

- 全教科共通：対面形式となるグループワークや話し合いの活動
- 音楽科：合唱やリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏
- 理科：グループで行う実験や観察
- 家庭科：調理実習とその試食
- 図画工作科：共同制作等の表現や鑑賞の活動
- 体育科：組み合ったり接触したりする運動